

議員氏名：大沼 英樹

議案番号：議案第22～26号

案件名：令和7年度二宮町一般会計予算

令和7年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和7年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度二宮町介護保険特別会計予算

令和7年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

私は、令和7年度予算、町長提出議案第22号から26号の一括討論をいたします。

第22号、一般会計予算、第26号、下水道会計予算について反対、ほか議案は賛成とし、反対の議案においてのみ討論をいたします。

まずは、議案第22号の一般会計予算についてです。

一言で言えば、随所に中身を感じない張りぼての予算の令和7年度、そんな印象を感じました。その筆頭は、施政方針に掲げたこどもまんなか元年、一部職員からは、放課後子ども教室を土日に開催するなど前向きな取り組みの説明がありましたが、関連予算は4万円程度増えただけで、現場が頑張っても限りがあるのではないかと思います。

そして、地区のところどころで子ども会が解散し、取りまとめを担っていた子ども会育成会連絡協議会が解散に向かっているということで、その結果、青少年育成費が減額です。これに対する代替事業も予算もありません。

学校内に配置しているとする各学校のスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーについて、令和4年に教育福祉常任委員会から、子どもたちのケアに丁寧に入れるほど十分ではないことが指摘され、教育の優先順位を上げ、提言事項実現に向け、確実な予算確保を要望すると増員などを求める提言書が出されておりますが、学校現場で教育相談がほぼいっぱいと言っているにもかかわらず、増員に向けての説明はありませんでした。

実際に学校内での子どもの問題については、保護者から相談や対応に悩んでいるとの声も受けておりますので、現場は余裕がなく、不十分なのは明白です。

このように、本予算審査の質疑、答弁に期待の持てるこどもまんなが聞こえず、見えず、残念です。

そして、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、下水道事業会計へ振り替えたのは失敗です。3,250万円もあれば、子育て支援や低所得世帯など、物価高騰に実効性のある支援事業ができたはずで、全く政治的なセンスを感じません。

予算書の随所に現れる町制90周年は、町の主体的な取り組みはほぼなく、関連団体の活動に冠をつけてもらったり、ボランティアに任せる他力本願が中心で、花火の開催など決まっていないことが先行して伝えられたりして、これも町行政の正しい姿勢とは思えません。

ほかにも支援する気があるようでない厳しいタクシー券の利用条件、自立運営のために法人化するはずの観光協会には例年以上の予算がつくなど、実態に沿っているように見えず、将来の見通しも立てられず、目先のことしか考えないのでは、町の未来に末路が見えてきそうです。

議案第26号の下水道事業会計は、1点のみですが、大きく反対です。

雨水貯留槽設置補助事業が庭の散水などに使うとして物価高騰対策だとしたら、町内の散水にどれだけ水道水が使われているのか現状の調査が必要ですが、未調査です。上水道の総量と下水処理量の総量でも比較をしたのならまだよいかもかもしれませんが、答えはありませんでした。

このように、実態調査もしていないことも問題ですが、雨水を生活排水として下水に流せば下水道料金を支払うことになり、申告なしに無断で下水に流せば、利用料金は5倍の過料の罰がありますから、このことにも注意をしなければなりません。

こんなひどい事業を抱えさせられた職員がふびんに思えて同情しますが、こんないいかげんに税の用途を選択してよいのでしょうか。物価高でありながらも、庭があつて散水をする余裕がある方に支援が必要でしょうか。

葛川治水の一助とも聞きましたが、夕立のような突然の雨でなければ、天候はだんだんと下り坂になり、雨は次第に強く降ってくることでしょう。雨が強くなっている、もしくは強くなりそうなときに、水栓を開いたり閉じたりしてくれる方がどれだけいるのでしょうか。

さらに、葛川の氾濫に影響を与える世帯の排水は、町内の広い範囲にはなりますが、対象になるのは6割程度ではないでしょうか。

2月18日付の朝日新聞を見たという方から、スズメの涙事業をやめてくれとのことでお手紙をいただきました。

この方の計算では、雨水貯留タンク、容量を仮に200リットルとしても、650軒に設置した場合に総容量が130立米、葛川の塩海橋付近の流量が毎秒120立米で、上流部は100立米毎秒として、10メートルの川幅から50センチ程度溢水したとしたら、毎秒5立米の溢水となり、26秒程度の貯水しかできないとのご意見です。集中豪雨の前にタンクが空でなければ、さらに効果は薄いものとなるでしょう。

新聞社の取材に、県内でも例がないのではとする職員答弁に、当たり前です。こんな無能で恥ずかしい事業は近隣市町で予算づけしません。公費であり税金ですから、データ解析を行って、どのような効果が現れるのか手法を公表してくださいとのことですので、その点は今後の広報にのみやに記載をよろしくお願いいたします。

以上です。